

「食と農」での先進的な街づくりに向けて東京農業大学と協定を締結

三菱地所株式会社（以下、三菱地所）は、東京農業大学（以下、東京農大）および大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）と、「食と農」の分野に関する三者連携協定を締結しました。

本協定は、「食と農」に関する豊富な知見・ネットワークを有する東京農大と連携することで、丸の内エリアにおける「食と農」分野に関して新たな価値を創造するとともに、全国各地から丸の内エリアに食材・食品を届けるネットワークを整備し販路を拡大することによって地方創生に寄与することを目的としております。これにより「食と農」を通じた先進的な街づくりに向けて、今後三者で具体的な取り組みを検討する予定です。

三菱地所はこれまで、就業者数：約 23 万人・事業所数：約 4,000 事業所が集まる丸の内エリアにおいて、多種多様なニーズにお応えするべく、様々なジャンルの「食」の集積を図ってまいりました。また、2008 年より推進している「食育丸の内」プロジェクトでは、地方と東京の中心・丸の内を結ぶ新しい「食」の交流のかたちを作り出しているほか、「食を通じた健康リテラシーの向上」に関する取り組みも行ってまいりました。本協定締結によって、「食と農」を通じた更に先進的なビジネスセンターとしての街づくりを進めてまいります。



左：伊藤理事長(エコツェリア協会) 中央：高野学長(東京農大) 右：合場専務(三菱地所)